**竜馬が岳、岩岳山、入手山周回　杉川林道起点**

**2013年5月26日(日)　晴れ**
**メンバー　　L：布田、ふじ、磯部N（記）**

---

日の長い時期しか、なかなか挑戦できないコースへ、というので読図力と体力のいる、しかもはっきりした登山道のない、 杉川林道を起点に竜馬が岳、岩岳山、入手山を経由して杉川林道へ下りてくるコースへ挑戦する。
ただし、ここ数年杉川林道は何カ所かで土砂崩れが起きていて、始点から１キロちょっとで車は通行止めになっている。

歩き出しから大崩壊

ガードレールのみが残った！

その分、林道を登山口まで余分に歩く。しかも、相当にひどい荒れ方でガードレールのみ残っていて、 道は崩れ落ちている縁を歩くような箇所もあった。

林道終点の広場から登山道になる。すぐに玄馬沢を渡るが、木橋は朽ちていた。ここから主稜線まで作業道を利用したり、 ブッシュをかき分けたり青息吐息の登行が続く。ヒルもいた、ダニにもたかられた、大変な道で疲れ果てた。 地図読みはもっぱら先輩二人に頼りきりだった。

道無き道を歩く

シロヤシオと高塚山

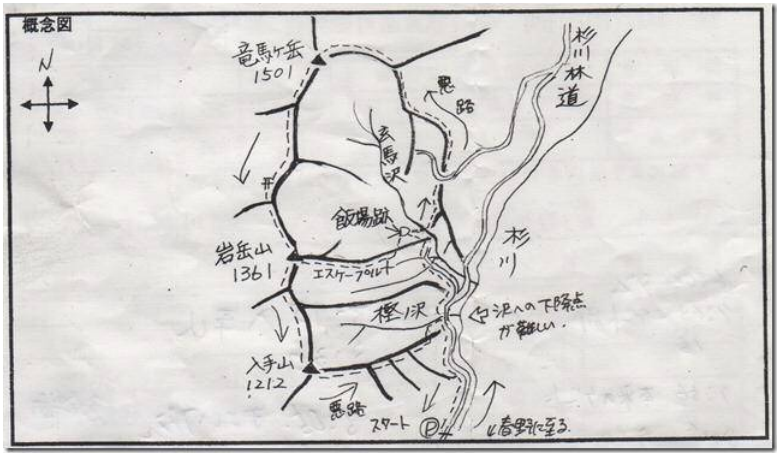
１４４０メートルにたどり着いてようやくなだらかになった。
竜馬が岳が近くなり、シロヤシオの木がたくさん見られるようになったが、去年よりはるかに花付きが悪い。

竜馬が岳、岩岳山、入手山の主稜線はコースもよく踏まれていて、登山道があるってつくづくありがたいと実感した。
入手山からの下山口は赤テープで何とか見つかったが、下りは急でテープもブッシュの中で見つかりにくく、 地図をひっきりなしに確認しつつコースを選定した。

竜馬が岳山頂

地図とコンパスで現在地を確認

　道らしい道はなく、歩きやすい箇所を探しながらの、しかも木に捕まりながらの苦労した下り道だった。
しかも 沢への下り口が見つからず、１時間あまりもルート捜しに費やした。
ようやく作業道が見つかり何とか、けがも無く、明るい間に林道へ出られてほっとした。
地図読みの大切さを先輩二人に教えられた山行だった。




概念図

＜タイム＞ゲート(7:16) - 登山口 (8:25) -上の林道(10:10 ) -竜馬が岳(12:50) -  岩岳山(14:28) -入手山(15:30) -  樫の沢橋(18:25) -  ゲート(19:00)